
環境トピックス 2024年06月号

このトピックスは環境分野における新しい行政の動きや環境ビジネス情報、コンプライアンス事例をご提供いたします。今後の環境ビジネストレンドに影響を与える情報をセレクトしています。

= 今月の目次 =

1. 政府・行政・法令分野	3
(1) 循環経済・自然資本等推進へ 100億円規模のファンド創設、事業者募集・・・東京都	3
(2) 製造業の再生プラ使用量に国が目標設定、使用実績の報告義務化も 罰則も検討・・・政府	3
(3) 化石燃料からのエネルギー転換状況、日本は26位 世界でペース鈍化・・・WEF	4
(4) 企業の自然保全に「証明書」、認定書と支援証明書を TNFD 開示に活用・・・日本	5
(5) 「SDGs、このままでは8割は未達成」と国連が報告書・・・UN DESA	5
(6) AIリスク予防と安全に向け「国連グローバル原則」・・・UN	6
(7) SDGs 指数停滞、食料と土地利用が課題浮上、日本はやや改善、ランキング18位・・・SDSN	7
(8) SDGs の一丁目一番地は「人権」、企業が果たせる役割は・・・WEF	8
(9) サステナビリティ情報開示のグローバル動向 2024年05月号・・・EY	8
(10) 35年の温室効果ガス、6割削減から上乗せなるか 目標の議論始まる・・・環境省、経産省	9
(11) ダイバーシティ経営へ冊子作成・・・経産省	9
(12) 個人ばく露測定で1人5万円補助金・・・厚労省	10
(13) 3月の価格交渉促進月間のフォローアップ調査結果を発表・・・中小企業庁	10
(14) PFAS許容量を据え置き 欧州の60倍超、批判意見も・・・内閣府食品安全委員会	10
(15) 太陽光パネルの再利用義務化法を検討 大量廃棄に備え・・・伊藤環境相、斎藤経産相	11

(1) 採用企業 30%増加とセクター別ガイダンスを発表・・・TNFD	12
(2) 「ヒューマン・サステナビリティ(ウェルビーイング)」に関する調査結果を発表・・・デロイト	13
(3) 気候関連情報開示促進 英 TPT・GHG プロトコル・GRI 等と連携する計画を示す・・・ISSB	14
(4) 気候移行計画を開示する企業が 50%近く増加と発表・・・CDP	14
(5) 対応マッピング表公開。生物多様性・生態系開示で高い整合性・・・TNFD と ESRS	15
(6) スコープ 3 で「重大なリスク」警告 削減目標設定済はわずか 15%・・・CDP	15
(7) CO2 排出量を把握できている中小企業は僅か 7.8% 民間調査結果・・・GDX リサーチ研究所	15
(8) 生物多様性保全へ企業の森林整備が活発化・・・サントリーHD	16
(9) CO2排出量が4年間で1.5倍 生成AIで電力消費増、排出量実質ゼロ困難に・・・グーグル	16
(10) CO2「ほぼゼロ」鋼材 トンあたり 6,000 円増・・・東京製鉄	17
(11) 環境負荷が低い店舗として「LEED GOLD 認証」取得・・・IKEA 前橋	17
(12) 仮想空間で環境貢献 カーボンクレジット購入・・・ブルボン	18
(13) 古着販売、規制備え商機探る、欧州アパレルで環境配慮が義務化へ・・・ユニクロ	18
(14) データセンターの余熱を地域暖房に・・・グーグルや MS など	19
(15) TNFD ADOPTER に登録 生物保全活動を評価し情報開示へ・・・エプソン	20

**次ページ以降はアドバイザー契約会員専用です。
(全20ページ)**

[こちらをクリックして詳細をチェック](#)